

【ビジネスライフ学科】



がんばれ
受験生!

卒業生からのメッセージ

(HP より抜粋 詳しくはこちらからご覧ください。)



「ビジネスライフ学科」を選んで良かったと思うことは？

- こども学科は「保育」「教育」というイメージですが、ビジネスライフ学科は一言で言い表すと「多様性」です。ファッション、ホテル・ブライダル、簿記・会計、コンピュータなど 25 に及ぶ専門科目ユニットから、資格取得に向けて自由に選んで組み合わせることができます。専門学校に進学していたらあり得ないことでした。
- 在学中に力を一番注いだことは「簿記」です。先生には授業後も教えていただきました。資格取得に向けては、「試験は毎年傾向が似ているから、それを掴むことが大事。問題集は過去問を掲載しているものを 1 冊だけ！何冊もやっちゃダメだよ」。先生のアドバイスに従い、図書館にある問題集をひたすら解きました。間違えた部分だけを印刷して復習をしっかりとすることで、無事合格することができました。嬉しかったです。
- この学科は、異業種のことをバランスよく学べます。就職活動においては、最初は金融系にも少し興味があったのですが、途中、不動産業・物品賃貸業にシフトした時も授業で基本知識を得ていたので特段焦ることはありませんでした。また、簿記に関しては、非常勤の先生が 1 対 1 で教えて下さったのでとても分かりやすかったです。
- 「日商簿記 3 級」を受験するにあたり、先生に細かい指導を受けたこと。また、ファッションの選択授業では、マーメイドラインや A ラインなど洋服の形に種類があることや、自分に合った色彩を知ることができました。もし専門学校に通っていたら、このように様々な分野を学べなかったと思います。多岐に渡っ

たカリキュラムから本当にやりたいことを見つけられて良かったです。

●入学の際、実は別の短期大学も視野にあったのですが、医療事務に興味を持ち始めた頃だったので、千葉経済大学短期大学部を選びました。一般的に短期大学ではあまり扱っていない「医療事務」。たとえその道に進まなかったとしても、人生の選択肢が広がる科目が沢山あるので入学の選択は間違っていなかった！と強く思います。やりたいことがまだ見えてこない人に、ぜひこちらの学科をお勧めしたいです。

●「ブライダル総論」では、披露宴だけではなく、結婚式のことについても勉強させて頂きました。就職後、お客様との会話作りにつなげられることだと思うので、授業に参加できて良かったです。

●選択授業では、「秘書」についても詳しく学べます！相手を意識した「上座」「下座」やお客様がエレベーターに乗る時のマナーを教わったことで、将来、ずっと役に立つだろうと満足しています。また、週に1度行われるパソコンの授業では、ワード、エクセルともにプリントを用意していただき、その練習問題を解くことで、具体的な操作方法を効率的に学べました。

●必修科目「キャリアデザイン」を学んだこと。言葉遣いや面接での立ち姿、グループディスカッションなど、就職活動における心構えを身につけることができたので、焦ることはありませんでした。また、ビジネスライフ学科の先生は、学生が大勢集まった時でも一人ひとりの名前を覚えていてくれました。学生みんなに目を配ってくれているのだと感謝しています。

●「色彩学」「パーソナルカラー」の授業を受講した時、自分に合った色や柄を知ることができました。アルバイト中、お客様にもおすすめの色を提案することで会話が弾みました。社会人になってからもきっと役立つと思います。

●「PCリテラシー」と「ビジネス文書」が学べたことです。医療事務ではパソコンスキルが必須なので、1年次にありとあらゆるパソコン授業を受講しました。今では、親に教えられるほどにまで上達しました。また、お礼状の書き方を学ぶことで、内定の承諾書を提出する時に大変役に立ちました。



がんばれ
受験生!

【こども学科】

卒業生からのメッセージ

(HP より抜粋 詳しくはこちらからご覧ください。)



「こども学科」を選んで良かったと思うことは？

- 保育現場を経験された先生方が多かったので、教科書だけでは知りえないリアルな情報から学ぶことができました。実際に園児が喜んだ手遊びや絵本を教えて頂き、実習で私も取り入れてみたら、大人気でした。
- 授業「言葉指導法」で「絵本ノート」を作ったことです。80冊以上の絵本を選び、あらすじや「保育に活かせるポイント」などをまとめました。今見返すと達成感を味わうことができますが、本当に大変でした。絵本の読み方についても他の学生の前で発表するため、繰り返し練習しました。「大人が話すスピードで読まない、ゆっくり読む」「ページをめくる『間』も考えてね」など、先生からのアドバイスは常に、子どもが聞き取りやすい環境を作り出すためのものでした。それを意識して教育実習に臨んだところ、園児が喜んでくれたので私の読み方を心地よく思ってくれたのかな、とやりがいを感じました。
- 自宅から近いという理由で他の短期大学も検討していたのですが、校舎がきれいなこちらを選んで良かったと思います。授業内でリトミックやレクリエーション・インストラクターの資格がとれることも決め手となりました。
- 各教科の「指導法」では、なぜその授業がこの学年に定められているか、その授業を行うことでどのような能力を高められるかなどを学びました。中でも、国語科の先生は教育指導要領の意味の捉え方において、私たちの発言を決して否定することなく「そういう考え方もあるよね」と認めてくださったことが印象深く心に残っています。それは、授業で子どもに対し私が導きたい答えを引き出せなかった時でも、一人ひとりの子どもの回答を認めてあげながら進めていくこ

となのだと認識しました。私の理想です。

●友達がこちらに入学を決めたことで、私も入学したいと思ったことがきっかけですが、「教師になりたい」という同じ目標を持った仲間たちに恵まれたと思います。集団面接をみんなで練習したこともいい思い出です。都合がつく人が集まり、試験官2人と学生7人位に扮して雰囲気を作り上げていきました。みんなで取り組むことで心強く感じました。

●公立保育士を受験するにあたっては、「教養試験対策講座」(社会・論文)が役に立ったと思います。両方とも苦手だったので、ある先生からは過去問を頂いて公民の出題傾向を教わり、ある先生からは、論文を書く時、問題用紙の「余白」を使って書きたいことをメモすることから始めるというアドバイスを頂きました。「できることは何でもやってみよう！」という気持ちから1年次に受講していたのですが、今もしっかり覚えていて各試験で見直すことができました。感謝しています。

●2年次で受講している「障がい児保育」では、先生から「動作を伝える時には『絵カード』を使うと伝わるよ」など、現場で活かせることを学んでいます。現在、内定先で研修中なのですが、実際にカードが使われており「座る」「静かに」など、行動を伝える時にスムーズに促すことができました。

●「社会的養護」の授業では、母子生活支援施設についてよくお話して頂きました。「子どもは親と暮らすことが一番いいよね」という先生の言葉がとても印象的でした。また、実習後に提出する「1万字のレポート」では、実際に母子家庭にインタビューし一般家庭との違いを書き上げました。先生のお知り合いの記者にインタビューを教わるなど、大変貴重な機会となりました。

●ピアノは短期大学入学時から始めたのですが、「簡易奏法」を学ぶことで初心者でも安心して弾けるようになります。本には右手で弾くメロディーが書かれており、左手で弾くコードを覚えていくといった感じです。幼稚園の試験で行われた初見演奏も落ち着いて臨むことができました。